

活動のテーマ

1. 高校生の新卒採用活動
2. 新卒入社者の「育成」と「定着」を目的とした研修計画

活動期間：2018年4月～2019年3月

発表日：2019年10月9日（水）



大幸建設（株）

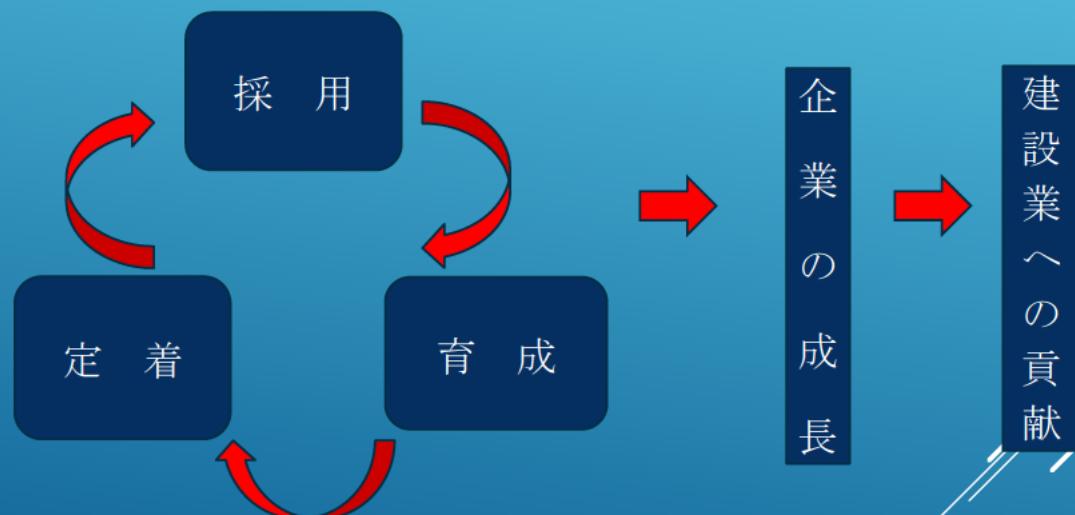
大幸建設株式会社

会社概要

型枠工事を専門とする建設会社であるが、技能工の多能工化を進め業務範囲の拡大を目指している。

活動の背景

技能工の高齢化が進むとともに、若手の入社者が少ないために人材を安定的、継続的に確保することが最重要課題であると考える。



大幸建設（株）

1. 高校生の新卒採用活動のポイント

- ①ターゲット校の選定：生徒及び親の地元志向、採用実績校
⇒工業高校、建築科に拘らず、普通科までターゲットを広げて育成する。
- ②学校訪問の定期的訪問：学校推薦なので進路指導教諭との関係強化が重要
- ③OBによる学校訪問：部活（先輩のいる会社に就職）
- ④求人票、会社資料の工夫：
仕事内容や研修内容（キャリアプラン） 労働条件（給与、休日、残業等）
⇒職種紹介パンフレットの作成、DVDの活用
- ⑤会社見学会でものづくりの面白さをアピール：若手社員の働く姿
- ⑥選考方法：面接及び筆記試験（一般常識）
⇒人物重視だが、基礎的な学力や学校の成績、出席日数も考慮

大幸建設（株）

新卒採用活動年間スケジュール

| | |
|---------|--|
| 4月～5月 | 高校訪問 |
| | 進路指導教諭と面談し、情報収集と企業PR、新入社員の近況報告 |
| 7月 | 求人票を高校に持参し、情報収集と企業PR 応募の可能性を把握 |
| 8月 | 高校生の会社見学会受け入れ |
| | 戸田建設（株）様の建設現場で現場責任者の協力を得て、仕事の面白さややりがいを説明 |
| 9月 | 就職試験（面接と筆記試験）、内定御礼もしくは2次募集のための学校訪問 |
| 10月～11月 | 2次募集及び就職試験 |
| 2月 | 内定者懇談会 |
| 4月 | 入社式 |

会社（現場）見学会



大幸建設（株）

活動成果・効果

- ①新卒採用活動の仕組みづくりが出来たことにより、年間スケジュールが明確になり、効率的に活動することができるようになった。
- ②採用実績校が増えて、毎年数名は採用できる見込みが立つようになった。
- ③特に地元の高校や採用実績校の進路指導教諭とのコミュニケーションが密にとれるようになってきた。

入社式



2. 新卒入社者の「育成」と「定着」を目的とした研修計画

- ①体系的な年間育成計画を立て、研修を実施した。
- ②新入社員と入社後、定期的（1, 2か月に1回）に個別面談を実施し、悩み等がある場合には早めに解決するようにした。
- ③毎月の職長研修会時にも若手社員たちの指導方法、コミュニケーションの取り方等についての話し合いを実施した。

資材センターでの研修風景



新入社員の年間育成計画

①4月：入社式及び社会人教育

②4月～6月：弊社ベテラン型枠技能工による「型枠の基本」研修（資材センター）及び現場研修の実施

③7月：5週間にわたる外部合宿研修（富士教育訓練センター）に参加
「型枠基礎」研修（講義と実習）により「小型移動式クレーン」「玉掛け」「高所作業車」等計7種類の資格取得

④8月以降：配属現場において職長による作業研修と勉強会

⑤4月以降（1, 2か月に1回）：個別面談による悩み事相談

大幸建設（株）



現場研修

外部合宿研修



型枠基礎研修

カリキュラム（5週間、206時間）

1. 安全衛生
2. 型枠概論
3. 型枠施工法
4. 型枠工事実習
5. 安定衛生作業法

高所作業車



大幸建設（株）

活動の成果・効果

- ①資材センターにおける技術研修と現場研修を計画的に行うことにより、効率的に技術を習得させることが出来た。
- ②外部合宿研修により、体系的に知識、技術を習得させ、現場ですぐに役に立つ資格を取得させることが出来た。
- ③ベテランの技能工が個々人の習熟度、理解度に合わせてきめ細かく指導することが出来た。
- ④資格取得（技術向上）という目標をもって仕事をさせることによって、「やる気」「意欲」をさせたいと取り組んでいる。
- ⑤高齢のベテラン技能工にも新入社員の指導を通して、その技術を活かす活躍の場を提供することが出来た。



大幸建設（株）

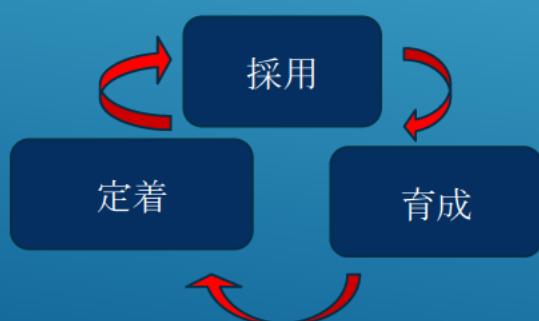


資材センターでの研修風景

今後の課題

- ①新卒採用活動により、継続的に高校生を採用し、育成計画により技術と知識を習得させ、資格を取得させることにより仕事の面白さややりがいを感じさせる。
- ②入社2年目以降も様々な資格を取得させることによって、技術や知識の向上を実感させ、さらにキャリアアップするという目標を持たせることによって「定着」につなげたい。
- ③平成20年より処遇の改善を考え月給制を導入したが、より魅力ある賃金体系を作り上げたい。

研修指導者と新入社員



大幸建設（株）

